

市町村におけるリユースモデル事業について
～各モデル事業の進捗状況（中間報告）～

1. 平成 25 年度モデル事業の概要

市町村とリユース事業者や市民団体等が連携し、地域の特性にあったモデル事業として、市町村からの事業内容の提案を受けて、群馬県前橋市、神奈川県葉山町の 1 市 1 町でモデル事業を実施しているところである。各地域の事業概要は以下の通りである。

平成 25 年度市町村におけるリユースモデル事業の概要

	群馬県前橋市	神奈川県葉山町
名称	リユース宝市	くるくる市
事業概要	開催テーマ「私にとっては不用でも、誰かにとっては宝物」とし、家庭に眠る"使えるけど使わない品物"をイベント当日に持参いただき、集まったものを無料で提供・交換するイベント。 市民団体、民間事業者とも連携し、残った製品等も可能な限りリユースを行う。	町民にリユース可能な製品を持ち込んでいただき、欲しい品を無料で持ち帰ってもらうイベント。町民を対象。 残った製品等は、リユース事業者にて引き取りしてもらい可能な限りリユースを行う。
リユース対象品目	衣類・くつ・かばん、ホビー用品、生活雑貨、書籍、育児用品、おもちゃ、小型の家具	衣類、本、食器、バッグ、靴、ぬいぐるみ、おもちゃ、その他日用品
役割分担	【行政】企画・開催、市民への広報、残った製品の処理 【市民団体】イベント開催支援 【民間事業者】リユース品の提供、残った製品等のリユース・リサイクル	【行政】企画・開催、町民への広報、残った製品の処理 【市民団体】イベント開催支援 【民間事業者】残った製品の査定・受け取り
実施期間	12月21日(土)	12月15日(日)、1月19日(日)、 2月9日(日)

2. モデル事業の実施状況（中間報告）

2.1 群馬県前橋市

(1) 実施するリユースモデル事業の概要

1) プランの概要

リユース品の使用及び提供を普及啓発するイベント「リユース宝市」を開催する。テーマを「私にとっては不用でも、誰かにとっては宝物」とし、家庭に眠る“使えるけど使わない品物”をイベント当日に持参いただき、集まったものを無料で提供・交換するイベントを開催する。市民団体、民間事業者とも連携し、残った製品等も可能な限りリユースを行う。

「リユース宝市」は、平成 26 年 12 月 21 日（土）にグリーンドーム前橋サブイベントエリアにて開催した。

対象品目

市民の方から提供いただくリユース品は、「衣類」、「ホビー用品」、「生活雑貨」、「書籍」、「育児用品」、「おもちゃ」、「家具」とし、食料品、電化製品、医療・介護機器などは対象外とした。

市民は、提供した品物が残った場合にも、持ち帰りの必要はなく、前橋市においてリユース・リサイクル可能なものを仕分けし、市民団体等でのリユース利用、リユース・リサイクル事業者への引渡し、または前橋市にて適正処理を行う。具体的には、市民団体（南橋リサイクルの会）が定期開催しているリユース品交換会に出品できるものを選別し別途保管、次いで古着・古紙を選別しそれぞれリサイクル事業者に引き渡し、これ以外のは前橋市清掃工場等で処分する。

「リユース宝市」で対象としたリユース品

品目	詳細説明
衣類	洗濯済でまだ着られるもの、靴、かばん、帽子も対象
ホビー用品	アウトドア、スポーツ用品（ スキー、スノーボード、自転車は不可）
生活雑貨	未使用の贈答品・日用品、新品同様の小物雑貨など（ 刃物は不可）
書籍	絵本、漫画、一般書籍（ 雑誌は不可）
育児用品	マタニティ用品、ベビー用品（ チャイルドシートは不可）
玩具	ぬいぐるみ、ブロック 1 個から、知育玩具、ジャングルジムなど
家具	カラーボックス程度の小型家具、小型ソファ、衣装ケースなど汚れ破損が少なく使用できるもの（ 大型家具は不可）

取組の概要

「リユース宝市」開催に向けた事前準備等を含めたスケジュールは下記の通りである。11 月下旬～12 月上旬にかけて、市のウェブサイトでの案内、ちらしの自治体回覧、ラジオ CM の放送、地元フリークーポン紙への広告掲載などの広報活動を実施し、リユース品の事前収集を行った。

「リユース宝市」開催に向けたスケジュール

日時	取組内容
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動（ちらしの自治会回覧、ラジオ CM の放送、地元フリークーポン紙への広告掲載など） ・資材準備、関係者との調整などの事前準備 ・リユース品の事前収集の実施（回収ボックス（3カ所）、粗大ごみからの料品ピックアップなど）
12月20日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・会場設営、事前収集したリユース品の陳列など
12月21日（土） リユース宝市開催	<ul style="list-style-type: none"> ・午前11時～午後1時：参加者からのリユース品提供、会場内への陳列 ・午後1時～午後3時：参加者のリユース品の持ち帰り（来場者アンケート、リユース自転車の抽選会など実施） ・午後3時～：残った製品の選別・仕分け、持ち帰り
効果測定・成果取りまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・残った製品の仕分け、市民団体・事業者への引渡し ・効果測定、来場者アンケートの集計等

「リユース宝市」で提供するリユース品は、「1．イベント当日に参加者が持参」、「2．事前に収集」の2つに大別される。

「1．イベント当日に参加者が持参する方法」は、開催当日（午前11時～午後1時まで）、会場入口付近に設置した受付において係員が市民から製品を受取り、係員が会場内に品目ごとに陳列した。

「2．事前の収集」は、市有施設3カ所に事前に設置した「リユース品回収ボックス」にて拠点回収した製品、一般廃棄物収集運搬業者による未使用品等の提供、粗大ごみの集団回収及び戸別回収から良品をピックアップ、の3つの方法で準備を行った（による出品実績はなかった）。事前に収集したリユース品は、イベント前日に会場内にて品目別に陳列を行った。

リユース宝市は13時～15時に開催、会場内の混乱を防ぐため参加者の入場制限をしながら会場内に誘導し、品目別に陳列された製品の中から欲しいものを自由に持ち帰ってもらった。開始直後は持ち帰り品数を1人10点までと制限し、途中から品数の制限は解除した。

役割分担

前橋市は、「リユース宝市」の主催者として、開催に向けた企画・準備・当日運営・効果測定等を行う。市民団体「南橋リサイクルの会」はリユース品の仕分け整頓、当日の会場運営の支援を、群馬県は広報、スタッフ協力等を、前橋市一般廃棄物処理事業協同組合、前橋市再生資源事業協同組合はリユース品の提供、有限会社ハシモトはリユース宝市終了後の、残った衣類等の引き取り等を行う。

2) 広報・PRの方法

ちらしは16,000枚作成し、自治会での回覧を実施、また、FMぐんまでのラジオCMの放映、地元密着フリークーポン紙「モテコ」での広告掲載、市ウェブサイトでの広報などを行った。

回覧 前橋市
ごみ減量課

リユース宝市は、
“使えるけれど使わない品物”を
皆さんから譲っていただき、
それを無料で提供するイベントです。

開催テーマは、
「私にとっては不用でも、誰かにとっては宝物」

掘り出し物を見つけに
ご家族お揃いでお越しください。
なお、早い者勝ちでお好きな物を
お持ち帰りいただくイベントですので
お早めのご来場よりお楽しみいただけます。

リユース自転車の抽選会もありますよ。

12月21日 **土**

グリーンドーム前橋サブイベントエリア

午後1時～3時

※リユース自転車抽選会へご参加の方は、
午後1時30分までに会場へお越しください。

なるべく不用品を
お持ちになってのご来場を

皆さんから提供いただく品物がこのイベントの主役です。
衣服、日用品、おもちゃ、書籍…
ご家庭にある“使わない物”を当日会場にお持ちください。

早得! とにかくうれしい**4つの特典**

午前11時～午後1時までにご不用品を提供してくれた方

1. 優先的に入場できます(整理券配布)
2. 指定袋20枚プレゼント
3. 先着400名様に粗品をプレゼント
4. リユース自転車の当選確率5倍!

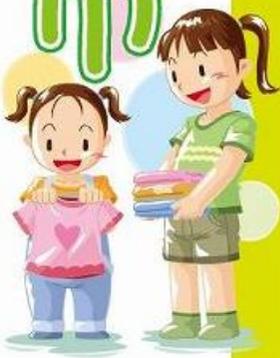


環境省モデル事業

100
リユース宝市

100
リユース宝市

初開催



今注目のリユース、
リサイクルよりも**ECO**。

そうだ!!
ウチのアレ、
持って行こう



リユースは、“そのままの形”で再使用することをいいます。
一方でリサイクルは、新しい製品の原料にすることをいい、
運搬、選別、粉砕など多くのエネルギーやコストがかかります。
このため、よりECOなリユースが注目されています。
みなさんに、“リユースの楽しさを伝えたい”そんな気持ちで
込めてリユース宝市を開催します。

提供いただきたいもの

前橋市のご家庭から出たもので、ご自分で搬入
できるものが対象です。
※ 食品、電化製品、医療・介護機器はご遠慮ください。

●衣類
(洗濯済でまだ着られるもの 靴、かばん、帽子もOK)

●ホビー用品
(アウトドア、スポーツ用品 ※スキー、スノーボード、自転車は不可)

●生活雑貨
(未使用の贈答品・日用品 新品同様の小物雑貨など ※刀物は不可)

●書籍
(絵本、漫画、一般書籍 ※雑誌は不可)

市役所正面玄関で
事前取寄せしています
※取寄せ品 糸のぼり袋
・前橋プラザ元気21(2階)
・児童文化センター
でも回収中

●育児用品
(マタニティ用品、ベビー用品 ※チャイルドシートは不可)

●おもちゃ
(ぬいぐるみ、ブロック 1個から、知育玩具、ジャングルジムなど)

●家具
(カラーボックス程度の小型家具、小型ソファ、衣装ケースなど汚れ破損が少なく使用できるもの ※大型家具は不可)



※提供いただいた品物が残った場合も、持ち帰りの必要はありません。
※このイベントは、品物をお持ちにならないでも入場でき、自由にお持ち帰りいただけます。
※イベント当日は、食用高油と使用済小型家電の回収も行います。
※高油はペットボトルに入れてよく蓋を閉めてください。(瓶割れの未使用油、ごま油等も可)



案内図

- 主催 前橋市
- 共催 群馬県
- 協賛 前橋市一般廃棄物処理事業協同組合
前橋市再生資源事業協同組合
- 協力 南橋リサイクルの会
- お問い合わせ 前橋市役所環境部ごみ減量課
☎027-898-6272

※このチラシはリサイクルできますので、不要になった場合は「雑紙」として出してください。



<会場入り口>



<リユース品持ち込み受付>



<開場を待つ参加者>



<陳列準備中の様子>



<開場前の陳列（キッズ洋服）>



<開場前の陳列（家具類）>



<開場前の陳列（書籍）>



<開場前の陳列（自転車（抽選））>



<リユース品を探す様子 >



<リユース品を探す様子 >



<会場の様子 >



<来場者アンケートの様子 >



<リユース自転車抽選会の様子 >



<特選品じゃんけん大会の様子 >



<終了後に残った製品の様子 >



<終了後に残った製品の様子 >

(2) モデル事業の利用状況・効果について (中間報告)

詳細については、第 14 回研究会において前橋市より紹介いただく予定。

1) モデル事業の利用状況について (中間報告)

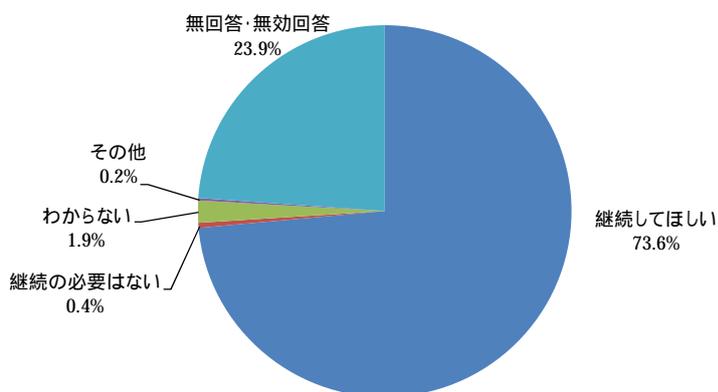
リユース宝市への参加者は約 800 人、うちリユース品を持参した人は約 600 人であった。

事前収集及び当日持ち込み合わせて 4,970kg (推計) のリユース品が会場内に陳列され、うち 3,915kg (推計) が持ち帰られ、リユースされたものは全体の 78.8% に相当すると推計される。

持ち帰りされずに残ったものは 1,055kg (全体の 21.2%) であり、衣類・ぬいぐるみ・かばん (800kg) 書籍 (170kg) は資源としてリサイクル事業者に、食器類とハンガーやイベント中に破損した品物などを不燃ごみ 85kg として処理した。

また、来場者アンケートは 467 件の回答を得ている。アンケートからは、来場者の多くが「リユース宝市」に満足しており、今後の継続について、「継続してほしい」と回答した人が、73.6% (345 件) と 7 割以上となっている。一方で、継続の必要はないと回答した人は、わずか 0.4% (2 件) であり、ほとんどの人が継続を期待しているものといえる。

「リユース宝市」の今後の継続意向 (N=469)



2) 効果測定について (今後の予定)

- ・リユースに関する実績整理
- ・来場者アンケートの結果整理
- ・「リユース宝市」の改善点、次年度以降の計画の検討 / など

2.2 神奈川県葉山町

(1) 実施するリユースモデル事業の概要

1) プランの概要

リユース体験型イベントによる普及啓発促進事業「くるくる市」を開催する。町民にリユース可能な製品を持ち込んでいただき、欲しい品を無料で持ち帰ってもらう。民間リユース事業者とも連携し、残った製品等も可能な限りリユースを行う。

「くるくる市」は、12月15日(日)(於：図書館ホール)、1月19日(日)(於：図書館ホール)、2月9日(日)(於：福祉文化会館 大会議室)の計3回開催した。

対象品目

町民の方から提供いただくリユース品は、「衣類、服飾雑貨」、「本」、「CD、DVD、ビデオ」、「食器」、「バッグ」、「靴」、「ぬいぐるみ」、「おもちゃ」、「その他日用品」とし、粗大ごみ、家電リサイクル法対象品目(冷蔵庫・冷凍庫、テレビ、洗濯機・衣類乾燥機、エアコン)、電気を使用するもの(アイロン、ドライヤーなどの小型家電)は対象外とした。なお、持込み禁止品についてもリユースしたい場合には「ゆずります」「ゆずってください」の情報を登録できる「葉山リサイクル掲示板」の利用を促している。

町民は、提供した品物が残った場合にも、持ち帰りの必要はなく、葉山町において次回開催まで保管するとともに、最終的にはリユース・リサイクル可能なものを仕分けし、リユース事業者への引渡し、または葉山町にて適正処理を行う。

「くるくる市」で対象としたリユース品

品目	詳細説明
衣類、服飾雑貨	洗濯済みのもの。毛玉等はできるだけとること。 服飾雑貨 = マフラー、帽子、ネクタイ、ベルト
本	落丁していないもの。ほこり等はできるだけとること。
CD、DVD、ビデオ	著作権侵害にならないもの。個人編集、録音、録画したものは不可×
食器	割れていないもの。
バッグ	スーツケースや1辺50cm以上のものは粗大ごみのため持ち込み不可×
靴	靴底がはがれていないこと。
ぬいぐるみ	目立つ汚れがないもの。1辺50cm以上のものは粗大ごみのため持ち込み不可×
おもちゃ	1辺50cm以上のものは粗大ごみのため持ち込み不可×
その他日用品	衛生管理上支障あるものは不可×(トイレ・お風呂用品など)

取組の概要

「くるくる市」開催に向けた事前準備等を含めたスケジュールは下記の通りである。11月と1月に広報用ちらしを作成・町民に配布、町のウェブサイトでの案内を行った。

不用品の持ち込みについては、会場入口付近にて受付を設置し、どのような品目をどのくら

い(重量)持ち込んでくれたかを計測する。また、持ち帰りの際にも同様に品目及び重量を計測している。

また、持込禁止品については「ゆずります」「ゆずってください」の情報を登録できる「葉山リサイクル掲示板」の利用を促している。

「くるくる市」にて持ち帰りされた方に対して、同意を得て追跡調査(アンケート)を実施し、製品の使用延長期間の把握を試みる。

「くるくる市」開催に向けたスケジュール

日時	取組内容
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動(町の広報、ちらし配布(1回目:町内会回覧、町内掲示板(55箇所)、各戸配布、公共施設・スーパー・銀行等で配布)、町ウェブサイトでの案内) ・資材準備、リユース事業者等との調整などの事前準備
12月15日(日) 第1回開催	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回くるくる市を図書館ホールにて開催。10時~15時。 ・持ち込み、持ち帰り品の計量、来場者アンケートの実施
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動(ちらし配布(2回目)、町ウェブサイトでの継続案内) ・第1回の開催状況を踏まえて、対象品目等の見直し、ちらしの修正
1月19日(日) 第2回開催	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回くるくる市を図書館ホールにて開催。10時~15時。 ・持ち込み、持ち帰り品の計量、来場者アンケートの実施
2月9日(日) 第3回開催	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回くるくる市を福祉会館 大会議室にて開催。10時~15時。 ・持ち込み、持ち帰り品の計量、来場者アンケートの実施
効果測定・成果とりまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者アンケートの集計 ・参加者への追跡アンケートの実施、集計 ・一般町民向けアンケートの実施、集計

役割分担

葉山町は「くるくる市」の主催者として、開催に向けた企画・準備・当日運営・効果測定等を行う。市民団体「ゼロ・ウェイストを考え、進める会」、「ごみへらし隊」はリユース品の仕分け整頓、当日の会場運営の支援を、リユース事業者は残った衣類等の引き取り等を行う。

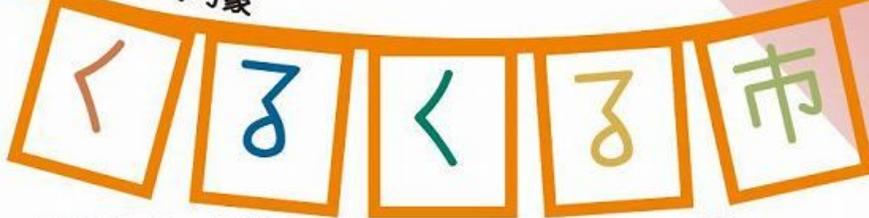


「もう使わないけど、捨てるにはもったいない…」

「欲しいんだけど、誰かゆずってくれないかなあ…」

そんな方はぜひお越し下さい!

葉山町民対象



開催日時・場所

第1回：12月15日(日)10:00~15:00@図書館ホール

第2回：1月19日(日)10:00~15:00@図書館ホール

第3回：2月9日(日)10:00~15:00@福祉文化会館 大会議室



Reuse(リユース)とは?

形を変えずにそのまま再使用するのが「リユース」です。まだ使えるものを再使用することで、「ゴミを出さない・増やさない」ことが目的です。くるくる市は、ご家庭で使わなくなった衣類、書籍、食器などを町内で「くるくる」循環させ、リユースを進めるためのイベントです。くるくる市で「リユースでエコな暮らし」始めてみませんか?

※当日は葉山リサイクル掲示板の登録・閲覧もできます。
※粗大ごみ、家電4品目(冷蔵庫・冷凍庫、テレビ、洗濯機・衣類乾燥機、エアコン)、電気を使用するもの(アイロン、ドライヤー、コーヒーメーカーなどの小型家電)は受け付けられません。

◆◆お持込みいただきたいもの◆◆



持ち込み品基本原則

①使用可能なもの

②破損・汚れ等はないもの

※粗大ごみ、家電4品目(冷蔵庫・冷凍庫、テレビ、洗濯機・衣類乾燥機、エアコン)、電気を使用するもの(アイロン、ドライヤー、コーヒーメーカーなどの小型家電)は受け付けられません。
※上記の他に受け付けられない場合もありますので、ご了承ください。
※お持込みいただいたものが残った場合、持ち帰りの必要はありません。



品目	※注意事項※
衣類	洗濯済みのもの。毛玉等はできるだけとること。
本	落丁していないもの。ほこり等はできるだけとること。
食器	割れていないもの。
バッグ	スーツケースや1辺50cm以上のものは粗大ごみのため持ち込み不可×
靴	靴底がはがれていないこと。
ぬいぐるみ	目立つ汚れがないもの。1辺50cm以上のものは粗大ごみのため持ち込み不可×
おもちゃ	1辺50cm以上のものは粗大ごみのため持ち込み不可×
その他日用品	衛生管理上支障あるものは不可×(トイレ・お風呂用品など)

◆◆お持ち帰りについて◆◆

- ◆無料でお持ち帰り頂けます。
- ◆マイバック持参にご協力をお願いします。



◆◆当日は葉山リサイクル掲示板の登録・閲覧も出来ます◆◆

当日持ち込み出来ない品(粗大ごみや小型家電)についてもゆずりたい・ゆずってほしいという方は、「ゆずります」「ゆずってください」の情報を登録出来る葉山リサイクル掲示板をご利用ください。

※リサイクル掲示板にも登録できない品があります。
詳しくは町HPにて。<http://www.town.hayama.lg.jp/recycle/>



~ご協力お願いします~

ご来場のみなさまには、環境省モデル事業効果測定のため、アンケート記入に協力して頂きます。



主催：葉山町
協力：ごみへらし隊
ゼロ・ウェイストを考え・進める会
問合せ：葉山町環境課
TEL：046-876-1111(内線453)

2) 広報・PRの方法

ちらしの全戸配布（平成 25 年 11～12 月、平成 26 年 1 月）町のウェブサイトでの案内などを実施した。

(2) モデル事業の利用状況・効果について（中間報告）

詳細については、第 14 回研究会において葉山町より紹介いただく予定。

1) モデル事業の利用状況について（中間報告）

- ・第 1 回から第 3 回の来場者数、持ち込み及び持ち帰りの人数・重量の実績を以下に記す。イベント全体を通して 3,570kg の持ち込み、その 70%にあたる 2,480kg の持ち帰りがあった。残った物は、リユース事業者が査定・引取りを行った。

くるくる市の利用状況実績

	来場者数	持ち込み		持ち帰り	
		人数	重量(kg)	人数	重量(kg)
第 1 回 (12月15日)	400	221	1,890	230	1,330
第 2 回 (1月19日)	450	228	1,530	279	960
第 3 回 (2月9日)	50	22	150	42	190
合計	900	471	3,570	551	2,480

2) 効果測定について（今後の予定）

- ・リユースに関する実績整理
- ・来場者アンケートの結果整理
- ・利用者追跡アンケートの実施・結果整理
- ・一般町民向けアンケートの実施・結果整理
- ・「くるくる市」の改善点、次年度以降の計画の検討 / など

「くるくる市」の開催の様子（第1回、第2回 於：図書館）



< 受付の様子 >



< 持ち込み量の計測の様子 >



< 会場の様子 >



< 会場の様子 >



< 持ち帰り計測の様子 >



< 持ち帰り計測の様子 >



< リサイクル掲示板 >



< アンケートの様子 >

（以上）